



三谷中学校区協働本部だより

三谷を育む

令和8年7月25日発行



三谷中学生対象

蒲郡市

地域文化財リーダーズ

養成講座

地域文化財

三谷祭

「三谷祭」から

三谷の「町の魅力」を探る

三谷中学生対象

－蒲郡市地域文化財リーダーズ養成講座－

「蒲郡市地域文化財リーダーズ養成講座」は、蒲郡市観光まちづくりビジョン推進委員会が「文化庁」の補助を活用して行う事業です。

出典：「三谷祭公式サイト」
<https://38fes.jp/>



本講座は、以下のことを通して、**ふるさとを愛するとともに、地域の文化財を伝承する当事者を育成する**ことを目指しています。

- ・観光による「蒲郡市のまちづくり」への参画
- ・地域の歴史や文化財、それに関係するストーリーの追究

三谷中学生に講座の案内をしたところ、**32名の応募**がありました。

中学生が「三谷祭」を題材に、その歴史を紐解きながら、その意味や意義、価値などを追究し、自らの言葉でその成果を語ることができる姿を目指しています。

また、「三谷祭」に対する地域住民にとっての想いなどを取材することで、**三谷の魅力や伝統を繋ぐことの意味や意義に迫る姿を期待**しています。

【ワークショップの日程（予定）】

- ① 7月25日（土）メンバー・サポーター紹介、班編成、問題作り
- ② **8月1日（土）映像編集講座（石丸みどり監督）、追究計画**
- ③ 8月8日（土）追究活動、フィールドワーク
- ④ 8月22日（土）追究活動、フィールドワーク
- ⑤ **8月29日（土）中間発表会、山村亜希先生講座**
- ⑥ 9月5日（土）追究活動、フィールドワーク
- ⑦ 9月19日（土）まとめ作業
- ⑧ 9月26日（土）発表内容完成
- ※三谷祭（練習参加、本番：10/24・25）
- ⑨ 12月5日（土）発表リハーサル
- ⑩ **12月6日（日）発表会・討論会：「三谷祭を繋ぐとは」（仮）**

地元の魅力（文化財）を発信しよう！

三谷祭を知る 体験する



一緒に創る
一緒に考える
バトンを繋ぐ



★保存会の金沢さんが追求のヒントを教えてくださいましたよ。

三谷祭保存会
（各区保存会）

三谷中学校区
地域学校協働本部

蒲郡市観光協会

三谷中文化財リーダーズ
（仮）「三谷祭」の魅力を伝えたい！

三谷祭大好き
サポーター

三谷を育む会
サポーター

三谷中学校区
学校運営協議会

★生徒たちを支えるサポーターに40名近くの登録がありました。

三谷祭を知るための問い例

三谷祭保存会 金沢会長

【1】三谷祭の歴史

- ・各区の役割分担
- ・なぜ海中渡御があるか？
- ・伊勢湾台風とその後の三谷祭
- ・海中渡御復活ストーリー

【2】三谷祭と町民との関わり

- ・祭りをを行う費用はどこから？
- ・お祭りをとりまわす年行司さん
- ・厄年と三谷祭に関係が？
- ・お祭りを繋げてきた三谷の人々
- ・同級生で公園桟敷席

【5】守り続けられたこと

- ・神事に関する絶対的なタブー

【3】山車と神輿

- ・今の山車はいつ作られたのか？
- ・全国的に珍しい「横棒」とは？
- ・舵を切るの「ジャッキ」とは？
- ・山車の「彫刻」物語
- ・山車の「大幕」（化粧幕）のこと
- ・山車が愛知万博に出演？

【4】保存会の歴史

- ・各区の保存会の成り立ち
- ・各区の「踊り」「行列」「神事」
- ・「衣装」と「小道具」
- ・出合いの作法

- ・絶対的な警固線
- ・こだわりの献上、お鯛

三谷中

三谷の宝 大島清掃



大島清掃へ出発

三谷中における協働活動は5年目となりました。

本年度も「授業補助」「校内整備（草刈り・花壇の整備）」「部活動指導」などに多くの方々のお力をいただいています。

【大島清掃】6月には、多くのご支援・ご協力をいただき「大島清掃」を実施しました。「三谷の財産・大島を大切にしたい」と願い、三谷中3年、高砂会、PTA役員、公民館職員など、多くの参加がありました。2年は町内の公園・児童遊園地、1年は学校内の清掃を行いました。

なお、昭和27年（1952年）三谷中生が大島清掃を行ったという記録が「今昔の三谷」に残っています。

【地域文化財リーダーズ養成講座】本年度、文化庁「地域文化財リーダーズ養成講座」が三谷中生徒対象で展開されます。三谷中生徒32人が応募しました。また、「三谷祭保存委員会」から19人の強力なサポーターが支援に名乗りをあげてくれました。（小田勝一推進員 石黒敬一推進員）



大島清掃

三谷小

子どもの笑顔は、私の笑顔！！



スライム

今年度開催した3回の教室「スライム」「ポンポンカーリング」「竹あかり」は、皆様のご協力のおかげで、すべて無事故で、笑顔があふれる楽しい時間となりました。心から感謝です！これからも、参加してくれるみんなが「笑顔」になれる場所を目指して、精一杯活動を続けてまいります。

【伊藤 優さん】の声（放課後子ども教室サポーター）

私にとって2回目の放課後子ども教室。今回も子どもたちの弾けるような笑顔にたくさん出会うことができました。今回はインパクトドライバーを使うため、いつも以上に安全面へ気を配る必要がありました。大人も子どもも一緒になって声を掛け合って楽しく活動できました。初めて工具を使う子どもも、大人の説明をしっかり聞いて安全に作業し、その真剣な姿が印象的でした。作品が完成した時の心から喜ぶ子どもたちの姿に触れ、私まで嬉しさに胸がいっぱいになりました。（伊藤勝美支援員）



竹あかり

三東小

子どもたちからの学びに感謝



放課後子ども教室

「子ども教室支援員」になって一年と六か月が過ぎました。子どもたちと工作したり作ったおもちゃで遊んだりしながら、楽しい時間を過ごしています。おもちゃを作っている時の「好奇心いっぱいキラキラと輝く瞳」に囲まれてついつい同じようにはしゃいでいる自分にビックリすることもあります。「学校サポーター」として「遠足や町探検などの付き添い」「一年生の給食や掃除の見守り」「五年生の火起こし」等、子どもたちと顔を合わせる機会が多くなり、学校内で「ドンちゃん」と呼んでくれる子も多くいます。活動に参加するたびに、「新しい発見」があり、「子どもたちから学ぶ」ことがたくさんあります。子どもたちにとっても「教師や親以外の大人との触れ合い」が、将来何かの手助けになっていればいいなと思う今日この頃。これからも健康に気をつけて、子どもたちに囲まれて過ごそうと気持ちを新たにしています。（伊藤 茂生 支援員）



町探検見守り